

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年 8月26日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	タービン建屋高電導度廃液系サンプ(C)ポンプ(F)運転確認実施時、ポンプ(F)の空気抜き弁動作不良により廃液の汲み上げができないことが認められたため、当該弁を点検・修理。 なお、高電導度廃液系サンプ(C)ポンプ(C)にて廃液の移送はできることから、高電導度廃液系の運転に影響はない。	GⅢ	8月23日
2	4号機	活性炭式希ガスホールドアップ建屋給気処理装置フィルター差圧指示計において、精度外れ(指示精度±0.009kPaに対して最大誤差0.018kPa)であることが認められたため、当該差圧指示計を交換。	GⅢ	8月23日
3	その他	発電所構内高台に設置されている高台避難時に緊急時対策本部として用いるトレーラハウス(全2台)の天窓において、外板劣化・脱落による雨水浸入が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、応急処置として、天窓部をゴムシートにて養生、固縛し雨水浸入処置を実施済み。 また、トレーラハウスは防災資機材ではなく、トレーラハウス内の防災資機材も浸水による影響はなかったことから、不適合グレードは「対象外」と判断。	対象外	8月24日